

東京クワルテット解散後、日本発祥で25年以上国際的な活躍をする唯一の存在。

ロータス・カルテット



Lotus String Quartet

小林幸子(ヴァイオリン) / マティアス・ノインドルフ(ヴァイオリン) / 山崎智子(ヴィオラ) / 齋藤千尋(チェロ)

結成30周年記念日本ツアー (但し、結成は1992年) 実施可能期間 2023年2月7日~26日

【プログラム A-1】

メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会 [1]
◆弦楽四重奏曲 第1番 変ホ長調 op.12 / 第2番 イ短調 op.13 / 第6番 ヘ短調 op.80

【プログラム A-2】

メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会 [2]
◆弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 op.44-1 / 第4番 ホ短調 op.44-2 / 第5番 変ホ長調 op.44-3

【プログラム B】

◆ハイドゥン: 弦楽四重奏曲 ニ短調 op.76-2, hob. :76 『五度』
◆メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲 第6番 ヘ短調 op.80
◆シューベルト: 弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 『死と乙女』

【プログラム C】

◆ハイドゥン: 弦楽四重奏曲 ニ短調 op.76-2, hob. :76 『五度』
◆ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 op.18-2 『挨拶』
◆シューベルト: 弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 『死と乙女』

1992年結成。1993年 大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。(会場=大阪・いずみホール)

1995年 ドイツ・シュトゥットガルト音楽芸術大学に入学。モロス弦楽四重奏団に師事。すでに日本国内での活躍が約束されていた若い音楽家たちが、そのキャリアを断ち切って、弦楽四重奏という深遠、厳格な世界を極めるべく、そろってドイツに留学してしまったことは過去に例がなく、大きな注目を浴びた。

モロスは勿論のこと、アマデウス弦楽四重奏団やラ・サール弦楽四重奏団など、二十世紀を代表する名カルテットの厚い薫陶と信頼を一身に受けたロータス・カルテットは次第に本場ヨーロッパで頭角を現した。

1997年 難関のロンドン国際弦楽四重奏コンクールでメニューイン特別賞を、パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位特別賞を受賞。さらにドイツBDI音楽コンクール弦楽四重奏部門で第1位に輝く。このコンクールにおける弦楽四重奏部門での第1位受賞は、ロータス・カルテットの師である、モロス弦楽四重奏団以来の快挙であった。これを機に、ワーナー・テルデックと録音契約を結び、CDを世界にリリースするなど、以後今日までシュトゥットガルトを拠点に極めて充実した演奏活動を展開している。

モロス弦楽四重奏団も第1ヴァイオリン奏者のウィルヘルム・メルヒャーが2005年に逝去したことにより、ロータス・カルテットはモロス弦楽四重奏団のために予定されていた多数の公演を代役として、あるいはモロスの残されたメンバーとの合同演奏により救援するなど一層多忙を極めることになるとともに、アマデウスやモロスの伝統を全く正統に継承して活動を続ける貴重な弦楽四重奏団として、本場ドイツにおいて安定した評価を得る成熟した弦楽四重奏団に成長した。

また2005年からはロータスと同じく、モロスやアマデウス、ラ・サールに学んだシュトゥットガルト弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を長年務めたマティアス・ノインドルフがロータス・カルテットの第2ヴァイオリン奏者として加入することになり、大きな注目を集めた。

2006年には久々に“来日”し、シューマン没後150周年を記念して、東京と関西で『シューマン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会』を開催。同時期にリリースされた『シューマン: 弦楽四重奏曲全集』CDが平成18年度文化庁芸術祭 優秀賞受賞。

2008年にはベートーヴェン: ラズモフスキー・セット全曲演奏会を含む、10公演に及ぶ日本縦断ツアー、2010年にはシューマン生誕200年を祝して、札幌コンサートホールと名古屋 宗次ホールからの招きにより3度目の『シューマン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会』を行う。

2012年には結成20周年記念日本ツアーを挙行。特に大阪では、国際的活動への出発点となった いずみホールにおいて、ゲストにセバスティアン・マンツ(クラリネット)を迎え、オール・ブラームス・プログラムによる結成20周年記念演奏会を開催。その模様はNHK-TV及びFMにおいて放送されたほか、同時期に記念ディスクとして発売された『ブラームス: 弦楽四重奏曲 op.51-1&2』『シューベルト: 弦楽五重奏曲(チェロ; ペーター・ブック) & ウェーベルン: 作品集』が いずれも『レコード芸術』誌で『特選盤』に選ばれるなど各新聞・雑誌において激賞された。この他にも好評を博しているレコーディングは数多い。

ロータス・カルテットは日本発祥ながらドイツを本拠とする国際的な常設弦楽四重奏団として、すでに25年以上のキャリアを誇り、今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在である。

(2018年7月現在)

2018年 日本ツアー公演記録

3/9 神戸新聞松方ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第1回】

3/10 神戸新聞松方ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第2回】

3/11 町田・アトススペース・オー

3/13 藤沢・鶴沼サロコンコンサート

3/14 高崎・アトリエミストラル

3/15 横浜市鶴見区民文化センター・サルビアホール

3/16 名古屋・宗次ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第1回】

3/17 (昼) 名古屋・宗次ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第2回】

3/17 (夜) 名古屋・宗次ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第3回】

3/18 神戸新聞松方ホール
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第3回】

3/20 武蔵野市民文化会館
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第1回】

3/21 (昼) 武蔵野市民文化会館
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第2回】

3/21 (夜) 武蔵野市民文化会館
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
弦楽四重奏曲後期作品全曲ツィクルス【第3回】

3/23 京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ
シューマン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会

3/24 広島・エリザベト音楽大学 セシリアホール
シューマン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会

3/25 東京・Hakuju Hall
シューマン: 弦楽四重奏曲全曲演奏会

お問い合わせ / コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL ▶ <http://www.kojimacm.com> E-mail ▶ kojimacm@ops.dti.ne.jp